



【保険適用価格 2022年 4月～】

○ 一般不妊不妊治療

- ・ **一般不妊治療管理料** **750円** (3ヶ月に1回)
- ・ 超音波検査 1,590円
- ・ 子宮卵管造影検査 約13,000円 (再診料、抗生剤、カテーテル等含む)
- ・ 子宮鏡検査 約 3,000円 (再診料、抗生剤等含む)
- ・ 人工授精 5,460円

○ 高度生殖医療

- ・ **生殖補助医療管理料** **900円** (月に1回)
- ・ 排卵誘発剤 約10,000～20,000円
- ・ 超音波検査・ホルモン検査 1回 約4,000円

◇ 採卵

- ・ **採卵術** **9,600円**
採卵数に応じて下記加算あり

1個	7,200円 (合計 16,800円)
2～5個	10,800円 (合計 20,400円)
6～9個	16,500円 (合計 26,100円)
10個以上	21,600円 (合計 31,200円)

※麻酔使用時は別途加算あり

◇ 体外受精 12,600円 (個数にかかわらず)

◇ 顕微授精

1個	14,400円
2～5個	20,400円
6～9個	30,000円
10個以上	38,400円

- ※ 体外受精、顕微授精両方実施の場合、
顕微授精代+体外受精代の半分(6,300円)
- ※ TESE精子使用の場合は15,000円加算あり

- ※ 「移植」の回数に制限はありますが、「採卵」の回数に制限はありません。
- ※ 将来使用するための採卵は保険対象外となります。
- ※ 高額療養費制度をご利用いただけます。

[例1] 完全自然周期 約 100,000円

900円+採卵1個(16,800円)+体外受精(12,600円)+培養(13,500円)+タイムラプス(33,000円)[自費]
+新鮮胚移植(22,500円) [薬剤、ホルモン検査、超音波：約8000円]

[例2] 刺激周期 (採卵 8個、新鮮胚移植、余剰胚凍結4個の場合) 約 170,000円

900円+採卵8個(26,100円)+体外受精(12,600円)+培養[仮:6個](25,200円)+タイムラプス(33,000円)[自費]
+新鮮胚移植(22,500円)+胚盤胞5個(6,000円)+凍結4個(21,000円) [薬剤、ホルモン検査、超音波：約20,000円]

[例3] 刺激周期 (採卵 8個、全胚凍結、余剰胚凍結4個の場合) 約 150,000円 + 融解胚移植 36,000円

900円+採卵8個(26,100円)+体外受精(12,600円)+培養[仮:6個](25,200円)+タイムラプス(33,000円)[自費]
+胚盤胞5個(6,000円)+凍結4個(21,000円) [薬剤、ホルモン検査、超音波：約20,000円]

◇ 受精卵・胚培養管理料

1個	13,500円
2～5個	18,000円
6～9個	25,200円
10個以上	31,500円

※先進医療：タイムラプス培養加算 33,000円 (自費)

◇ 胚盤胞作成加算

1個	4,500円
2～5個	6,000円
6～9個	7,500円
10個以上	9,000円

◇ 胚凍結保存管理料

1個	15,000円
2～5個	21,000円
6～9個	30,600円
10個以上	39,000円

◇ 胚移植術

新鮮胚移植	22,500円
融解胚移植	36,000円

※下記実施の場合加算あり

- ・ アシステッドハッチング 3,000円
- ・ 高濃度ヒアルロン酸含有培養液 3,000円